








膀胱全摘除術+尿管皮膚瘻造設を受けられる患者様へ（前日入院）






（膀胱全摘（尿管皮膚瘻）パス）【17027-00】

患者氏名： _____ 様 入院病棟： _____ 病棟 主治医： _____ 受け持ち看護師： _____ No1/3

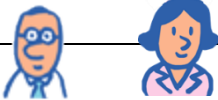
日付	/		/		/	
入院日数	1日目		2日目		3日目	
イベント	入院日		手術当日：手術前		手術当日：手術後	
目標	<input type="checkbox"/> 治療について理解できる。 <input type="checkbox"/> 排尿方法が変わることを受け入れられる。		<input type="checkbox"/> 安静が守られる。 <input type="checkbox"/> 体温・脈拍・血圧・呼吸が安定している。 <input type="checkbox"/> 創部・ストーマ周囲の皮膚に異常がない。 <input type="checkbox"/> 痛みがコントロールできている。		<input type="checkbox"/> 離床できる。	
内服 注射	時から点滴を始めます。 		点滴をします。 		点滴をします。 	
検査			採血をします。 レントゲンを撮ります。 		採血をします。 レントゲンを撮ります。 	
治療 処置	/ ストーマの位置を決めて印を付けます。 / 手術の範囲に体毛があれば剃ります。		朝体重測定をしてください。 手術は 時 分の予定です。		・背中に痛み止めの管が入ってきます。 ・お腹に管が入ってきます。 ・酸素マスクをします。 ・鼻から胃の管が入ってくることがあります。 ・血栓ができないよう、足にマッサージ器がついてきます。	
食事 飲水	昼から出ます。 食事内容に制限はありません。 / 時以降降食となります。		時以降は飲めません。 お薬は看護師に確認してください。		食べたり、飲んだりできません。 	
清潔	手術前日は必ずシャワー浴してください。				お腹の管が抜けるまで身体を拭くタオルをお持ちします。	
排泄			ストーマから尿の管が入ってきます。 ストーマ装具を貼っています。			
安静 活動	処置が終了するまで病棟内で過ごしてください。		病棟内で過ごしてください。		ベッド上安静です。 座ったりベッドから下りることはできません。 横向きになることは出来ます。 	
説明 指導	・ / 医師から手術についての説明があります。ご家族の同席をお願いします。 ・ / 看護師から入院後の生活、手術（術後の装具、ストーマ）について説明します。 ・術後4階西病棟（ハイケア病棟）に数日間転棟する場合があります。別紙を用いて説明します。 ・ / 麻酔科の医師、手術室の看護師が訪問に来ます。		・新しい病衣に着替えます ・時計、眼鏡、義歯等は外してください。		・手術や麻酔の影響により様々な症状が出るのが予測されます。適宜対応しますので辛いことがあれば看護師に伝えてください。（痛みや嘔気など） ・ハイケア病棟への転棟、もしくはお部屋を移動していただくことがあります。	
					回診があります。 傷の状態を観察します。	
					水分を取ることが出来ます。 （お腹の動きにより開始時期が前後する場合があります。）	
					回診後、看護師が付き添い歩行します。	
					・手術後の合併症を予防するためには、身体を動かすことが大切です。痛み止めを使用しながら動きましょう。	

注) 現時点で考えられる予定であり変更になることがあります

患者氏名： _____ 様 入院病棟： _____ 病棟 主治医： _____ 受け持ち看護師： _____ No2/3

日付	／ ～ ／	／	／	／
入院日数	4～5日目	6日目	7日目	8日目
イベント	手術後2～3日目	手術後4日目	手術後5日目	手術後6日目
目標	<input type="checkbox"/> 創部・ストーマ周囲の皮膚に異常がない。 <input type="checkbox"/> 痛みがコントロールできている。 <input type="checkbox"/> 嘔気や便秘がない。 <input type="checkbox"/> 排尿方法が変わることを受け入れられる。		<input type="checkbox"/> 創部・ストーマ・皮膚に異常がない。 <input type="checkbox"/> 痛みがコントロールできている。 <input type="checkbox"/> 嘔気や便秘がない。 <input type="checkbox"/> 主体的にストーマ装具交換ができる。	
内服 注射	点滴をします。 食事や水分が取れていれば2日目で終了します。 			
検査	【術後2日目】採血とレントゲンがあります。  			レントゲンを撮ります。 
治療 処置	回診 背中チューブを抜きます。 お腹の管を抜きます。			
食事 飲水	水分を取ることが出来ます。 2日目の昼食から全粥が開始になります。 （お腹の動きにより開始時期が前後する場合があります。）		食事ができます。	
清潔	お腹の管が抜けるまで体を拭くタオルをお持ちします。 管が抜けてからシャワーに入ることが出来ます。		シャワー浴ができます。 	
排泄	ストーマ装具を貼っています。排便があるように体を動かしていきましょう。排便がなければ、必要に応じて下剤を使用します。			
安静 活動	病院内自由にお過ごしください。			
説明 指導	術後の合併症を予防するためには、体を動かすことが大切です。痛み止めを使用しながら動いていきましょう。			
			ステップアップ表に沿って、看護師とともにストーマ装具の取り扱い方法を練習します。	

患者氏名： _____ 様 入院病棟： _____ 病棟 主治医： _____ 受け持ち看護師： _____ No.3/3

日付	____ / ____ ~ ____ / ____	____ / ____ ~ ____ / ____	____ / ____ ~ ____ / ____
入院日数	9日目～12日目	13～14日目	15～17日目
イベント	手術後7～10日目	手術後11～12日目	手術後13～15日目：退院
目標	<input type="checkbox"/> 発熱がない。 <input type="checkbox"/> 排便がある。 <input type="checkbox"/> 創部・ストーマ・皮膚に異常がない。 <input type="checkbox"/> 痛みがコントロールできている。 <input type="checkbox"/> 主体的にストーマ装具交換ができる。	<input type="checkbox"/> 発熱がない。 <input type="checkbox"/> 排便がある。 <input type="checkbox"/> 創部・ストーマ・皮膚に異常がない。 <input type="checkbox"/> 主体的にストーマ装具交換ができる。	<input type="checkbox"/> 発熱がない。 <input type="checkbox"/> 排便がある。 <input type="checkbox"/> 創部・ストーマ・皮膚に異常がない。 <input type="checkbox"/> 主体的にストーマ装具交換ができる。 <input type="checkbox"/> ストーマ装具の購入方法がわかる。 <input type="checkbox"/> 退院後の生活上の注意点を知っている。
内服 注射			
検査			
治療 処置			
食事 飲水	食事が出ます。		
清潔	シャワー浴ができます。傷の状態によって医師の許可があれば入浴が可能になります。		
排泄	ストーマから尿の管が入ってきます。ストーマ装具を貼っています。 排便があるように体を動かしていきましょう。排便がなければ、必要に応じて下剤を使用します。		
安静 活動	病院内自由にお過ごしください。		
説明 指導	ステップアップ表に沿って、看護師とともにストーマ装具の取り扱い方法を練習します。		
	術後の合併症を予防するためには、体を動かすことが大切です。痛み止めを使用しながら動いていきましょう。		医師より病理検査の結果を説明します。 看護師より退院後の生活について説明します。疑問や不安等があればいつもお話しください。退院手続きが出来ましたら、清算表を病室にお持ちします。お帰りの際に精算をお願いします。

退院基準：

- ストーマ・フランジの管理ができる
- 創感染症がない
- 37.5℃以上の発熱がない
- 創傷が自制内で経過する

